

下半期も16名の新しいソフィアスタッフが入社！

2017年度の下半期を迎え、ソフィア全体の社員数はおかげさまで徐々に増えており、現在500名弱となりました。上半期は80名以上の新しい仲間を迎え、10月には16名の専門職スタッフや本部に配属になる新入社員が入社！今年度も後半に差し掛かりましたが、ますます盛り上がりを見せています♪

社員数
増員！



皆さまにご満足いただけるよう社員一同全力を尽くしてまいります。ぜひご期待ください！！

新入社員に期待を寄せ、毎月熱意を込めて社長自ら研修を行います。初めは自己紹介で交流を深めながら、ソフィアの経営方針や今後のビジョンについておよそ3時間かけ丁寧に説明をしていきます。

今回入社したスタッフは20～50代と幅広く、職種もNs・PT・OT・ST・介護職・事務職・本部総合職と多岐にわたりますが、病院、施設、医療系企業などで様々な疾患やケースを対応してきた経験豊かなスタッフばかりです。



新入社員と先輩社員のランチタイムもソフィア恒例です。今後は各事業所で十分な研修をした後、実際の現場にてサービスを提供させていただきます。これまでの経験を活かしてソフィアの一員として、お客様そして地域のために貢献できるよう成長していきますので、どうぞよろしくお願いたします！

また別日には、2018年度新卒総合職の内定式が執り行われました。来春より、本部総合職としてソフィア事業所（訪問看護ステーション、デイサービス、ケアプラン、ケアナーシング）の後方支援の業務に携わる新卒メンバーは4名です。

入社後は、地域の皆様にもご挨拶させていただく機会がある事と存じます。来年度よりソフィアの仲間として活躍が期待されるフレッシュなメンバーの入社にもご期待ください！



～社長より直々に内定証書が授与されます～



～新卒同期は男女合わせて4名！～

秋の菌活レシピ ～きのこ小松菜の卵とじ～

きのこは菌そのものだけを食べられる唯一の食品。なので「菌食材の王様」と呼ばれているんです！菌のチカラを丸ごと美味しくいただきます！

～材料4人分～

- ・ブナシメジ 100g
- ・エリンギ 100g
- ・小松菜 1束
- ・長ねぎ 1本
- ・サラダ油 大さじ1
- ・【A】酒大さじ1
- ・【A】砂糖小さじ2
- ・【A】しょう油小さじ2
- ・ちりめんじゃこ50g
- ・卵3個



菌＝きのこ
菌という漢字は訓読みで「きのこ」。菌食材の王様であるきのこは、まさに菌活にぴったりの食材なのです！

～作り方～

1. ブナシメジは石づきを切り小房に分ける。エリンギは食べやすい長さにし、5mmの厚さにスライスする。
2. 小松菜は5cmの長さにし、長ねぎは5mmの斜め切りにする。
3. フライパンに油を熱し、きのこ・小松菜・長ねぎを入れてさっと炒め、ちりめんじゃこ・【A】を加えて軽く混ぜ、フタをして弱火で蒸し焼きにする。
4. 溶き卵を加えてフタをし、卵が固まったら器に盛る。お好みでわけぎ(分量外)を散らす。

※「菌活」…身体に良い働きをする菌を積極的に食事から取り入れること



菌活ポイント

女性が気を付けたい骨粗鬆症は、20歳をピークに骨密度が減少し始めるため、日ごろの食生活で骨量を維持することがとても大切！骨の主成分であるカルシウムは体に吸収されにくい栄養素ですがきのこのビタミンDにはカルシウムの吸収を助ける働きがあります。カルシウムが豊富な小松菜やちりめんじゃこはと合わせることで、効率よく丈夫な骨づくりに役立ちます。

ソフィアメディセミナー 特別シンポジウム開催決定！

『訪問看護ステーションの未来作り』

～2018年度介護保険改正&診療・介護報酬ダブル改定を見据えた将来構造～



※昨年度の様子

昨年度が初開催となった、ソフィアメディ教育研修事業部主催の「特別シンポジウム」ですが、ご好評につき今年度も開催が決定いたしました！健全経営で事業成長を成し遂げてきた経験豊富な経営者や現場を熟知する専門家が集まり、業界の将来展望を語り伝える場とすることで、社会環境や情勢が刻々と変わる中、地域の皆様、患者様に輝かしい未来を提示できる事業者となるための経営基盤の整備にお役に立てる内容をお届けします。お申込み方法などは追ってご連絡いたします！

日時：平成30年1月27日(土)
13:00～18:00
会場：大手町「日経ホール」
地下鉄「大手町駅」C2b出口直結、徒歩2分

詳細については
同封のチラシを
ご覧ください。

◆ miniコラム ◆ 11月の誕生花とその花言葉をご紹介します♪ご自宅での観賞用に、誕生日の贈り物に、参考にしてみてはいかがでしょうか？

椿(つばき)

日本の花木の代表である椿。椿と日本人との関わりは深く、平安時代には食用や化粧品として親しまれ、京都のお寺には室町時代からの椿が残っています。江戸時代には吹上御殿に花畑を作った2代將軍徳川秀忠が特に椿を愛していたことから人気に火がつき、町人や武士に愛される花となりました。庭木の花が少ない冬の時期、凛とした美しい花を咲かせ、古来より日本人の心に寄り添ってきた椿です。

花言葉
控えめな美しさ
誇り・美德



ブバルディア

フランス・ルイ13世の時代、パリ王室庭園長のシャルル・ブーバルの名前に因んで命名されたのが由来です。ブバルディアの花は、特徴的な十文字のような形をしており、小さくて可愛らしく、花束にした時に他の花のアクセントとなる魅力的な花です。主役級の花ではなく脇役の花。あると華やかさが増します。白やピンク、赤など様々な花色があり、さりげなく主役を引き立たせる素敵な花です。

花言葉
清楚・親交・夢
幸福な愛

